

上牧町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）結果公表

当町では地球温暖化対策として、「上牧町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）」を令和5年3月に策定しました。

実施期間は令和5年度から令和12年度までの8年間で、町の事務事業から排出される温室効果ガス【二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）】を**令和3年度（基準年度）比で31.1%削減**することを目指しています。

この度、令和6年度の実施結果を取りまとめましたので公表します。

1. 令和6年度の結果

令和6年度に排出された温室効果ガスの総排出量は1,631tとなりました。これは令和3年度の1,093tと比較すると**約49.2%増加**となり、令和5年度の1,604tと比較すると**約1.6%増加**となります。

2. 総評

温室効果ガスを令和12年度までに令和3年度比で31.1%削減することを目指しているなか、年々増加している現状です。

主な要因として、教育機関でのガス空調設備導入が挙げられ、教育機関全体における温室効果ガス総排出量は毎年約50tずつ増加しています。また、令和3年度の文化センターにおける電気使用量に算出誤りがあったことから、令和3年度の温室効果ガス総排出量は極めて低く設定されています。

なお、当町で排出される温室効果ガスは、令和3年度と同様に令和6年度においても電力の使用に起因するものが最も多く、約73.7%を占めています。電力の使用に起因する温室効果ガスの総排出量を減らしていくためには、電力使用の抑制のほか、再エネ電力の調達や設備機器の効率化などが挙げられます。

具体的には、空調温度を夏は高めに冬は低めに設定する、 unnecessaryな照明は消灯する、高効率照明（LED照明）を積極的に導入する、電気自動車や低燃費車を購入するなどの取組を推進していきます。

令和6年度事業としては、保健福祉センター（2000年会館）の館内空調設備を高効率空調へと全面更新しました。

※高効率空調

少ないエネルギーで大きな冷暖房能力を発揮する空調設備のこと。

エネルギーコストを大きく削減できるため、省エネ性能が高く、電気代の削減が見込まれる。

3. 温室効果ガス総排出量

(単位：t)

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電気	664	1,175	1,218	1,202
都市ガス	221	153	168	209
軽油	75	86	91	93
プロパンガス	71	60	61	60
ガソリン	62	65	67	67
灯油	0	1	0	1
A重油	0	0	0	0
合計	1,093	1,540	1,604	1,631

※温室効果ガスの排出係数は二酸化炭素1、メタン25、一酸化二窒素298で算出しています。

※小数点以下の計算により、合計に誤差が生じることがあります。

(単位：t)

